

令和3年11月8日

熊本県臨床検査技師会 各位

第6回小児超音波研究会学術集会

会長 吉田光宏

第6回小児超音波研究会学術集会につきまして

謹啓

時下、熊本県臨床検査技師会の皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび令和3年11月21日（日）第6回小児超音波研究会学術集会を開催させて頂くこととなりました、八代北部地域医療センター 吉田と申します。

当学術集会は、年一回開催され、全国から小児超音波検査に携わる医師、検査技師が一同に集まり、超音波検査を臨床現場で活用するための学びの場となっております。

第6回日本小児超音波研究会学術集会は、新型コロナの影響で1年の延期となり、さらには今夏の感染拡大を受け、急遽プログラムの再編成を行い、完全Webでの開催へと変更させて頂きました。その為、皆様へのご案内が遅くなり大変申し訳ございませんでした。

今回の学術集会は、午前中を教育講演で構成し、プライマリ・ケアから専門領域まで活用できる超音波検査について、各領域のエキスパートの先生方に御講演頂きます。ランチオンセミナーでは、川崎医科大学 検査診断学教授 畠 二郎先生に、小児の腹痛についてご講演頂く予定です。午後のセッションでは、新生児医療での超音波検査、小児外科・泌尿器科診療における超音波検査にスポットを当てたシンポジウムと各領域の一般演題を予定しております。事前登録された方につきましては、後日オンデマンドでも御視聴頂けます。

様々な領域の小児超音波検査についてこれだけ包括的な内容の教育講演が開催されることは少なく、超音波検査に携わっておられる方はもとより、そうでない方にとりましても、超音波検査の意義をご理解頂ける機会になるかと存じますので、熊本の検査技師の皆様にも是非ご参加頂ければ幸いです。

謹白

第6回日本小児超音波研究会学術集会プログラム

【教育講演】8:40-11:55

「プライマリ・ケアから専門領域まで役立つ小児超音波検査」
～プライマリ・ケアで超音波を使いこなす為に
症状別：超音波画像からこんな病態を考える～

1. 「リンパ節腫脹・皮下腫瘤」など体表の超音波検査
自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科・感染制御室市橋 光先生
2. 「チアノーゼ」・「喘鳴」の小児に対する心臓超音波検査
末広ひなたクリニック小児科 森 一博先生
3. 「腹痛の原因検索お願いします」のオーダーに応える
熊本赤十字病院 小児外科 吉元 和彦先生
4. 「下痢・血便・嘔吐」と超音波検査
大阪医科薬科大学小児科 余田 篤先生
5. 「小児の尿検査異常」の鑑別診断のための超音波
東京都立小児総合医療センター 河野 達夫先生
6. 「コロナ禍における小児画像検査の感染対策」
東京都立大塚病院小児科 富所 由佳先生

【ランチョンセミナー】12:05-13:05

「エコーで診る小児科疾患 ～腹痛を中心に～」
川崎医科大学 検査診断学教室教授 畠 二郎先生

【一般演題、シンポジウム】13:30-18:13

シンポジウム1：「新生児医療における超音波検査の活用」
シンポジウム2：「外科・泌尿器科診療における超音波検査の意義」
一般演題：小児診療で経験する、循環器疾患、消化管疾患（感染性腸炎、メッケル憩室、
虫垂炎など）脱水症、菊池病、精巣捻転などについての口演

参加される方は事前にホームページよりご登録をお願いいたします。

※前日に茨城こどもECHOゼミナールによるwebでのハンズオンセミナーも予定されており、当学術集会に参加登録された方は参加費無料でセミナーにご参加頂けます。詳しくはホームページをご覧ください。

[第6回日本小児超音波研究会ホームページ](http://jspm06.kenkyuukai.jp/special/?id=33312)

<http://jspm06.kenkyuukai.jp/special/?id=33312>